



みずむすび

「みやぎ型」での当社の取り組み

～ 民間目線でのコンセッション事業 ～

2023.12.12

株式会社みずむすびマネジメントみやぎ

会長 酒井 雅史



みずむすび

CONTENTS

- ・ 事業および当社の紹介
- ・ 特徴的な取り組み

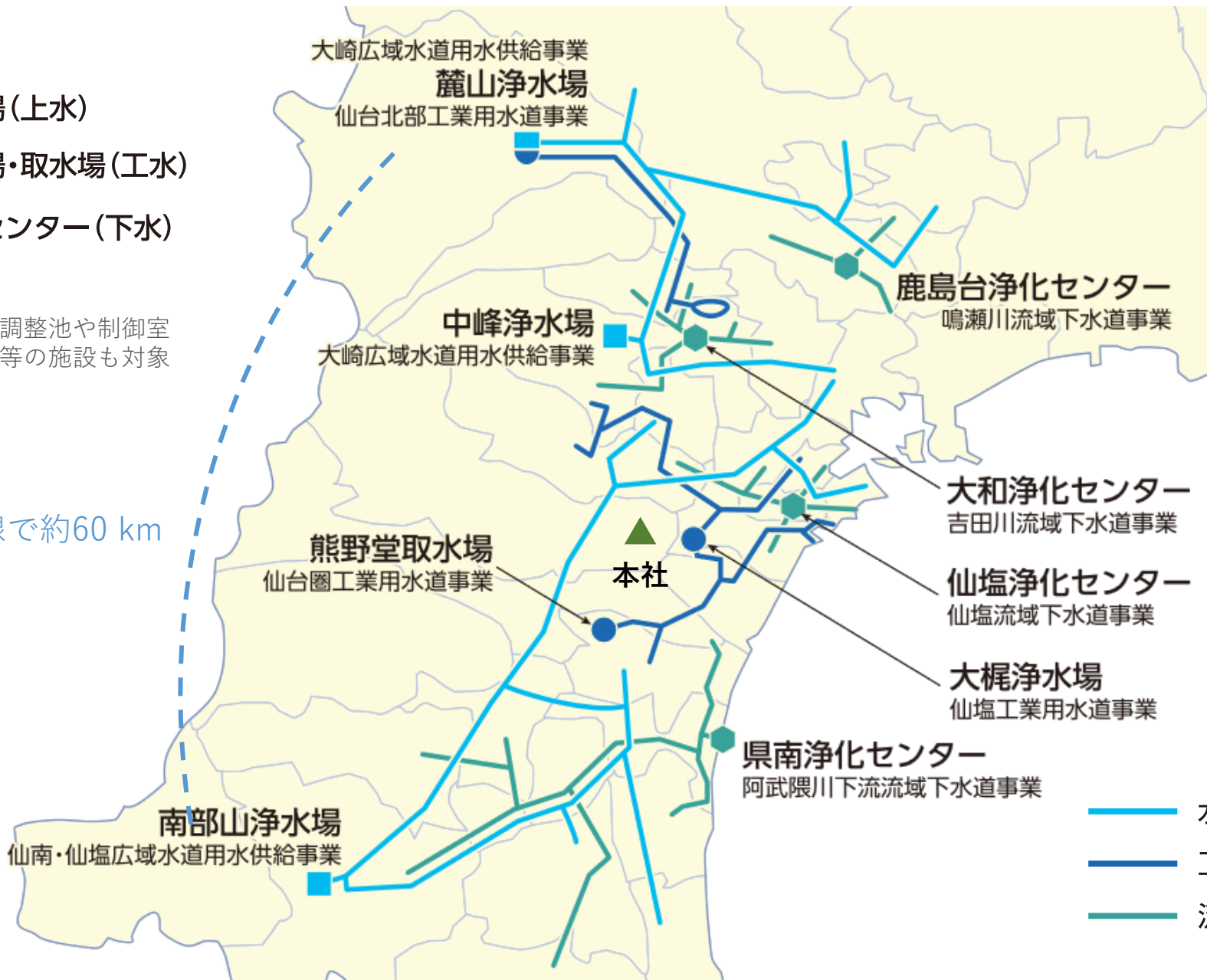
株式会社みずむすびマネジメントみやぎ

参考) 事業の面的な範囲

- 浄水場(上水)
- 浄水場・取水場(工水)
- ◆ 浄化センター(下水)

※管路上の調整池や制御室
ポンプ場等の施設も対象

直線で約60 km



- 水道用水道
- 工業用水道
- 流域下水道

参考) 主な運営権対象施設

上水道 (水道用水供給事業)



中峰浄水場

事業 大崎広域水道用水供給事業
施設能力 約1.9万m³/日



南部山浄水場

事業 仙南・仙塩広域水道用水供給事業
施設能力 約28万m³/日

上水道

工業用水道



麓山浄水場

事業 大崎広域水道用水供給事業
仙台北部工業用水道事業
施設能力 約8万m³/日 (上水)
約6万m³/日 (工水)



大槻浄水場

施設能力 約10万m³/日

下水道 (流域下水道事業)



仙塩浄化センター

事業 仙塩流域下水道事業
施設能力 約22万m³/日 (日最大)



県南浄化センター

事業 阿武隈川下流流域下水道事業
施設能力 約12.5万m³/日 (日最大)



鹿島台浄化センター

事業 鳴瀬川流域下水道事業
施設能力 約9千m³/日 (日最大)



大和浄化センター

事業 吉田川流域下水道事業
施設能力 約4.2万m³/日 (日最大)

■ みずむすび2社の成り立ち

- ① メタウォーター(株) ※代表企業
- ② ヴェオリア・ジェネッツ(株)
- ③ オリックス(株) ④ (株)日立製作所
- ⑤ (株)日水コン ⑥ (株)橋本店
- ⑦ (株)復建技術コンサルタント ⑧ 産電工業(株)
- ⑨ 東急建設(株) ⑩ メタウォーターサービス(株)



MMM **MSM** 所在地：宮城県仙台市青葉区立町27-21

MMM 資本金等：3,190百万円* **MSM** 資本金等：90百万円

MMM 社員数：約35名
MSM兼務者除く

MSM 社員数：約270名
応援要員を含む

MMM 代表取締役社長：中村英二

MSM 代表取締役社長：安東武智

* 令和5年12月現在



■ 経営理念と経営方針

● 経営理念

事業をむすび、水事業関係者をむすび、現在と未来をむすび、持続可能な上工下水道サービスを実現する

● 経営方針



地域

みやぎの未来の水を支え続ける地域の基盤を創造し、地域と協働して、その持続的発展に貢献する



信頼

安全・安心の水を安定的に供給し、透明性の高い運営と情報発信で、信頼を醸成する

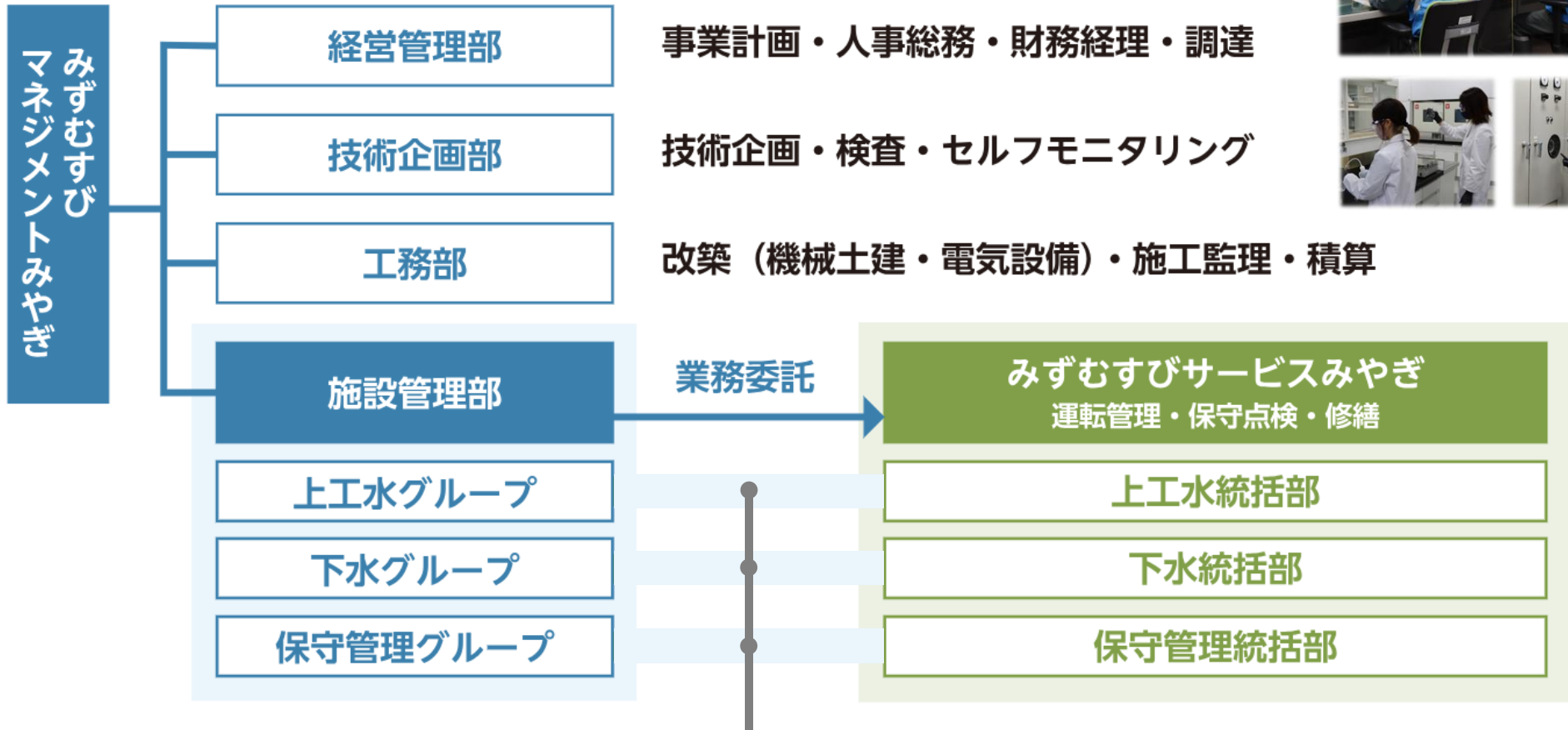


革新

創意工夫と革新的技術の導入と、改善の継続により、3事業一体運営の効果を最大化する

■ 事業運営体制

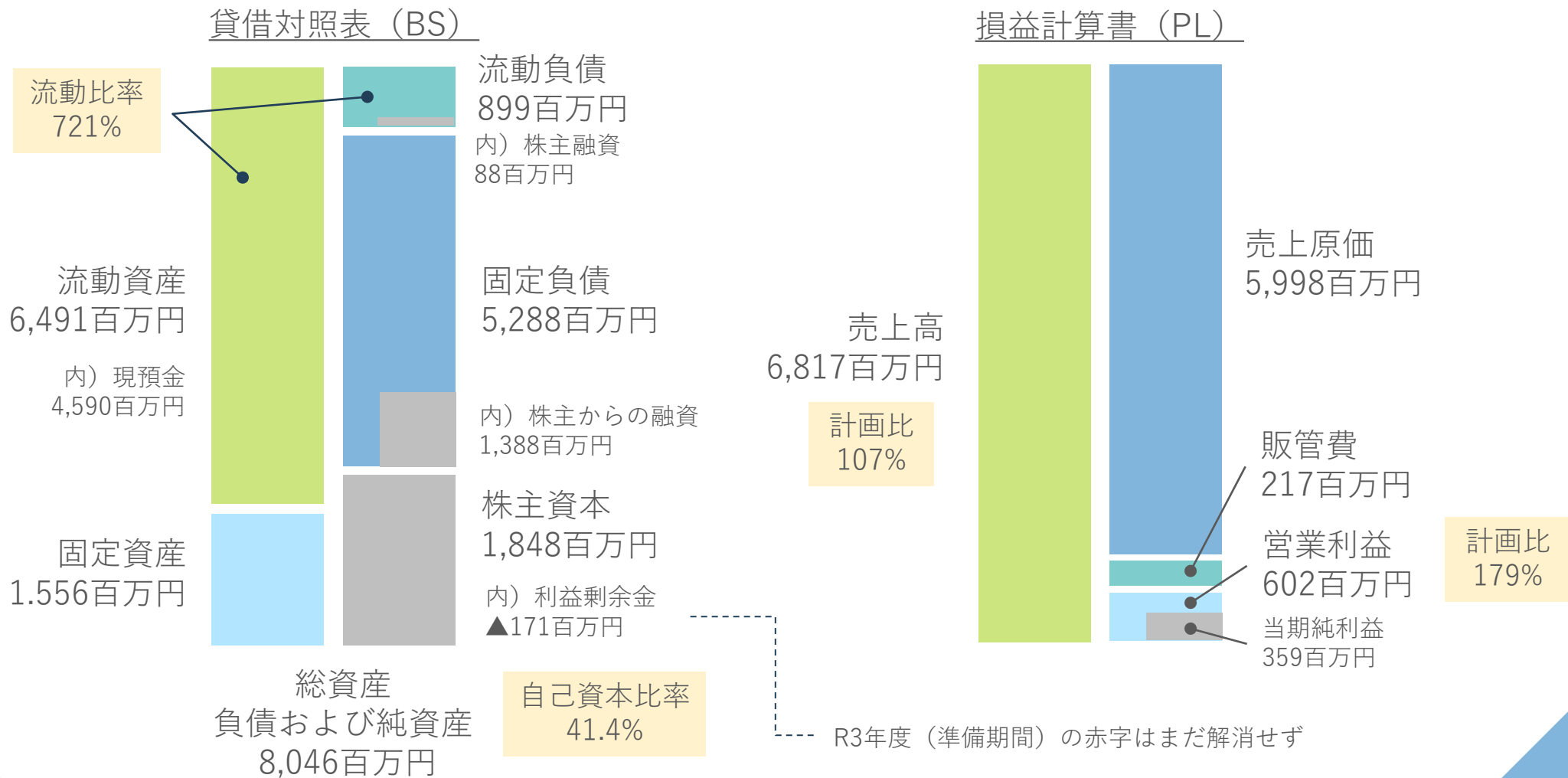
- 2社で役割を分担しつつ
一体的な運営体制を構築しています



MMM副社長がMSM社長を兼務することで連携を円滑化
他のMSM幹部社員もMMM社籍を持ち、MMM経営管理体制に組み込み

令和4年度の経営成績（MMM）

- 初年度の経営成績は計画を上回り、順調に事業が立ち上がり
- 厚い自己資本と高い流動比率で財務基盤も安定的に維持
- 改築工事工期遅延と電力費上昇等の物価上昇対応が当面の大きな課題





みずむすび

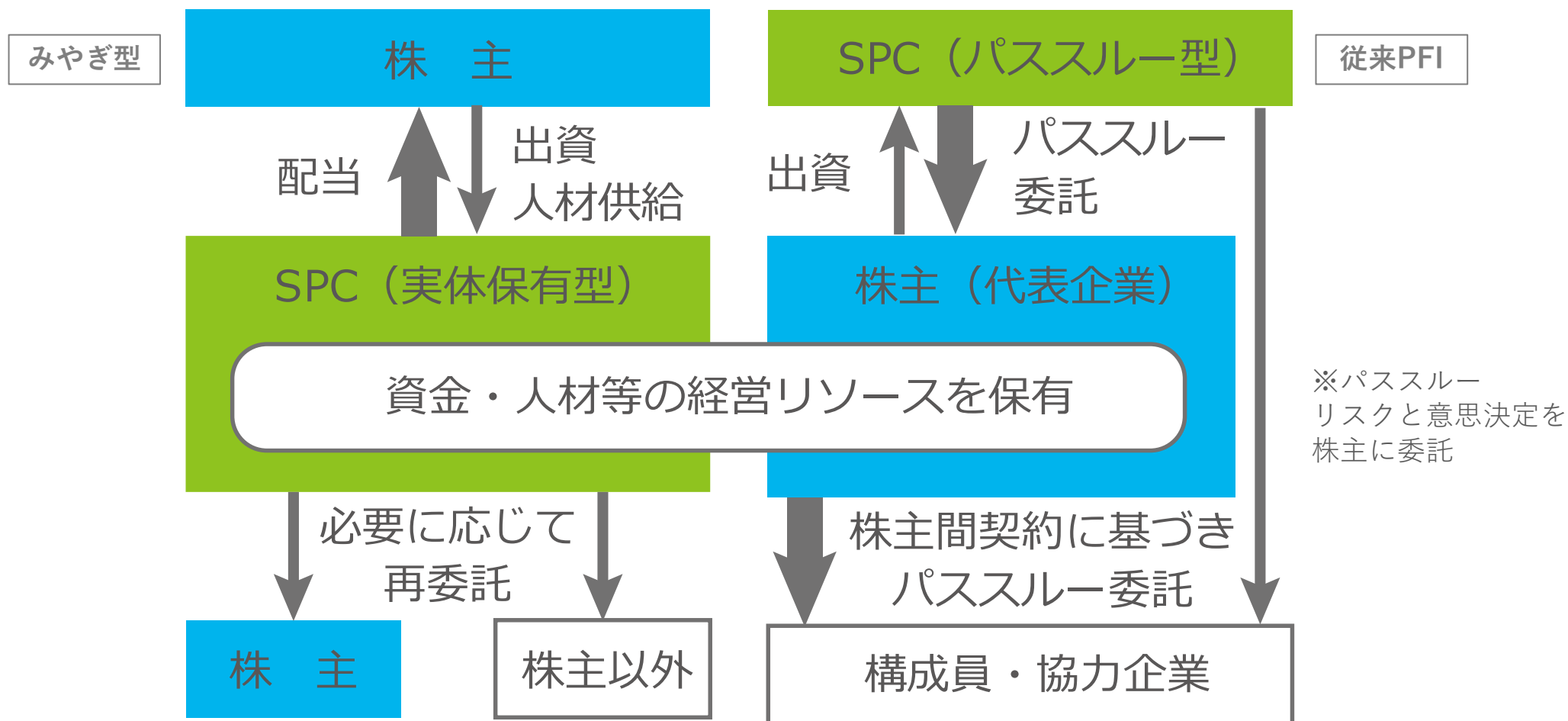
CONTENTS

- ・ 事業および当社の紹介
- ・ 特徴的な取り組み

株式会社みずむすびマネジメントみやぎ

■ 実態保有型のSPCの組成 ①

- みずむすび2社が株主からの独立性をもち、主体的に経営
- 各株主は出資等の資金と、出向者の派遣を通じて事業運営に関与



■ 実体保有型のSPCの組成 ②

- みずむすび2社が株主からの独立性をもち、主体的に経営
- 各株主は出資等の資金と、出向者の派遣を通じて事業運営に関与



効果

- ✓ 各株主の意向ではなく「みずむすび」がタイムリーに経営判断
- ✓ 計画、設計、改築、維持管理の全体最適（真のアセットマネジメント）
 - 個別業務委託による情報の分断が最小化される
- ✓ 入札等のオープンな手法により地元企業、競合他社へも工事を発注
- ✓ 「地元企業」としての色が強くなり、地域社会への貢献をより意識する



「みずむすび」「株主」が共通の利益（安定運営維持、配当最大化、みずむすびおよび事業への理解醸成）に向かって、個々の力を最大限に発揮

■ 公共性を踏まえた改築工事のオープンな調達

- 従来PFIと異なり、地元を含む株主以外の企業への発注を推進
- オープンな入札類似手法を用いて競争性と透明性を確保
- 調達方針・ルール、契約実績もHPで公開

※ <https://sites.google.com/mizumusubi.info/procurement/>



効果

- ✓ 総括原価方式の事業ゆえに重要な説明責任の担保（契約相手先・契約金額）
 - 水道・下水道コンセッションの抱える特徴を踏まえた当社の独自方針
 - ✓ 改築費の最適化により発生した余剰資金で、改築対象とする設備を増加
 - 改築費圧縮分は利益ではなくリスク低減対応へ充てる
 - ✓ 株主以外の企業が保有する「良い製品」をフラットに活用
 - 株主に忖度せず技術的にベストな製品を導入できる
- ※ 提案実現に不可欠な一部（中央監視や 焼却炉長寿命化）は株主への随契も実施



■ 地域経済への貢献

地元企業への発注

- ✓ 地元企業の技術者確保、業務実績等に配慮した発注時期や条件の設定
 - ✓ 県内業者を対象とした案件を設定 等々の工夫を実施
- 目論見通りでない部分もあるが、BCP目線でも地元企業への誘導は継続

技術人材の確保

- ✓ MSMでは地域人材を維持管理を担う技術人材として直接雇用
- ※「直接雇用」は事業終了後に実施契約上解散義務のあるMMMと、
永続可能なMSMを分社した大きな理由
- ✓ 教育・訓練を通じて地域の水インフラを支える要員として育成
 - ✓ 現時点で既に約90%の人員が県内人材、高卒者の採用も開始
- 人材面でも地域で独立していくことを目指している

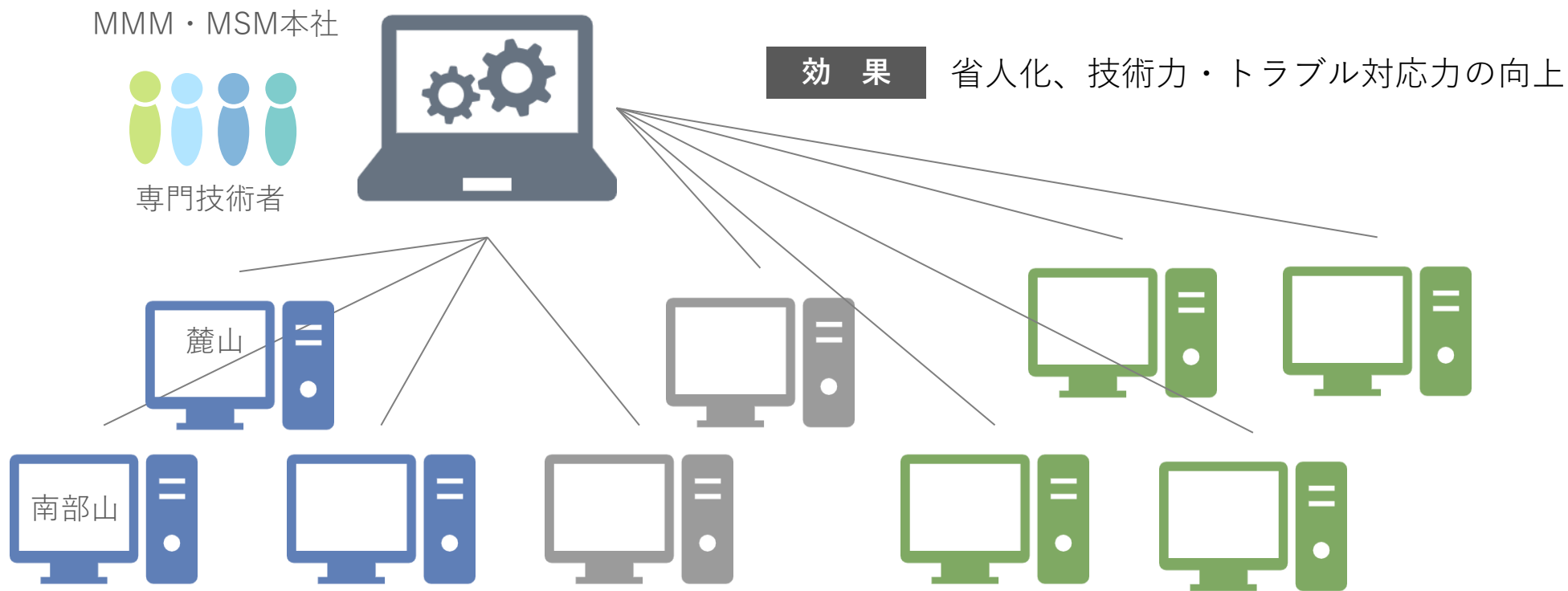


■ 広域管理（面的な運営）の導入

- 浄水場・浄化センター単位ではなく、事業を跨いだ管理体制の構築

統合型広域監視制御システム

- ✓ 各現場の中央監視画面をモニタリング・技術支援
- ✓ 緊急時等には下り操作も可能な構成・万全の情報セキュリティ
- ✓ 今年度から順次導入中（完成はR10年度の予定）



保守点検業務等の広域管理

- ✓ 保守点検・修繕については、南北のエリアごとに組織化
→ 3事業バンドリングの効果の1つ

■ MDP（情報プラットフォーム）の導入

- 事業に関わるデータをクラウド上で管理、活用
- 運転・保守点検・修繕・改築・経営を結び付け、
改善に資するツール群



危機対応時のMDPルーム

水みやぎDXプラットフォーム（MDP）

- ✓ アセットマネジメント機能： 高機能化された設備台帳・健全度評価ツール
- ✓ 地図情報機能（GIS）： 面的に広がる施設の管理支援・人員の位置把握
- ✓ プロセス管理機能： どこからでも運転管理状況の概略を把握
- ✓ KPI管理機能： 事業運営上のKPIを一覧（モニタリング用）
- ✓ 危機管理対応支援機能： 危機時の情報一元化、対応履歴の保全
- ✓ 文書管理機能： 事業情報（文書）の一元管理・県を含む決裁ワークフロー

※県とのやり取りは、ほぼデジタルベースで実施

■ 積極的な情報発信・広報活動・技術承継

- 水道第1号のコンセッション事業として、当社の責任は重大
- 県民のみなさまへ事業のメリットと持続性への貢献をご理解いただきたい
- 広く開かれた技術研鑽の場の提供

情報発信

- ✓ 「みずむすびん（水結便）」の発行・配布
- ✓ 仙塩浄化センター隣接の県立公園のネーミングライツ

多賀城みずむすび公園



広報活動

- ✓ 「みずむすびフェス」の開催
※1,000人×年3回を動員
- ✓ 「自由研究バスツアー」の企画



技術承継

- ✓ 「みずむすびアカデミー」を設立、県や地元企業も参加
※ 安衛法特別教育、個別技術研修、ヒューマンエラー研修等





みずむすび

おわりに

県民の皆さまの「生活」「地域の経済活動」に不可欠な
水道・工業用水道・下水道インフラを支え続けるため
みずむすびはこれからも進化を続けてまいります

株式会社みずむすびマネジメントみやぎ